

青山学院大学シンギュラリティ研究所 「近未来の図書館と新しい学び」研究プロジェクト

■シンギュラリティ研究所とは

昨年4月に開設されました。AIが飛躍的に進化する近未来において、私たちはどう生きるのか——^{シンギュラリティ}技術的特異点 (AIが人間の知性を超える時点) を迎えようとしている人間と社会のあり方について、主に人文・社会科学的な観点から多面的に研究を進めています。

<http://www.aoyama.ac.jp/research/laboratory/singularity/>

■プロジェクトの趣旨・目的

研究支援に加え、教育・学修支援に向けて変貌を遂げている大学図書館について、協働的・創発的な学び(合い)を促進するプラットフォームととらえ、実証的なアプローチを重視しながら、「近未来の図書館」におけるサービスやシステムについて、新しいモデルの開発をめざします。本学新図書館計画にも資することをねらいつつ、本格的なAI時代を見据えて研究を進めています。

■現在の取り組み

現在は、主に三つの課題について、産学連携体制で取り組んでいます。

- ・ 協働学習環境モデルの構築 (協働学習環境ソフト「Hoylu Suite」を用いた実証実験)
- ・ 学習者志向の図書館サービス (AI活用を含む) の開発 (近日中にプレスリリース予定)
- ・ 産学連携型教材開発・共有システムの開発 (同上)

■今後に向けて (ご意見募集)

「AI時代の図書館」について、アイデアや疑問などをぜひ教えてください。下記に自由にご記入ください。今後の活動のヒントにさせていただきます。本プロジェクトへのご意見・ご助言も歓迎いたします。メールでもお待ちしております。

プロジェクトリーダー ^{のぞえとしひこ} 野末俊比古 (tnozue@ephs.aoyama.ac.jp)